



旧十和田市消防団の歴史

十和田市消防団の前身は、明治5年に組織された私設の三本木火防組に始まります。明治43年9月1日、町制が施行され、三本木町消防組となり、昭和10年12月には消防常備員制度が実施され、常備員3人を採用し、屯所に駐在させました。昭和14年3月3日、消防組が警防団と改称され、同年4月には三本木町警防団となりました。昭和22年6月、町議会において三本木町消防団設置条例

が可決され、同年8月三本木町消防団となりました。昭和30年8月28日、4町村（三本木町、大深内村、藤坂村、四和村）の消防団が統合し、三本木市消防団が発足し、昭和31年10月10日、市名改称に伴い、十和田市消防団となりました。その後、平成17年1月1日、十和田湖町との合併により現在に至っています。



旧十和田湖町消防団の歴史

大正3年4月、法奥沢消防組という名称で創設となり、昭和14年4月1日、警防団令公布施行と同時に、十和田村警防団が発足しました。昭和30年、町制施行に伴い、十和田町消防団となり、昭和50年、町名改称に伴い、十和田湖町消防団となりました。その後、平成17年1月1日、十和田市との合併により現在に至っています。



特集

消防団

地域の
防災ボランティア

～大切なひとを守りたい、
大好きなまちを守りたい～

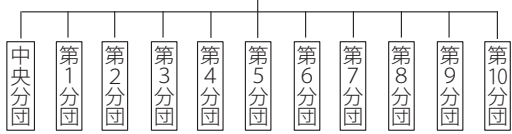


平成30年度市総合防災訓練

(5月30日) 奥入瀬川河川敷ほか
大雨洪水警報と土砂災害警戒情報発令時に、本県東方沖約100kmを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、本市が震度6強の地震に襲われたことを想定して行われた。
写真は、消防団による水防(土のう作成)訓練の様子。

十和田市消防団の概要 (平成30年10月1日現在)

●組織概要 団本部 (ラッパ隊含む)



●消防屯所数 …47カ所 ●車両数 …48台

●十和田市消防団条定人数…860人

●十和田市消防団員数 …712人

性別		平均年齢
男性	692人	47.03歳
女性	20人	



日本消防協会
特別表彰「まとい」

これは、全国消防団の中でも、特にその活動が優れた消防団に与えられる、最高栄誉の表彰で、平成26年2月28日に十和田市消防団が受章しました。現在は、十和田地域広域事務組合消防本部に展示されています。

滑に行えるように、火災現場付近の交通整理、消火に使用する水の中継送水、防火水槽への水の補給なども行なっています。消火後は、現場の見回りも行っています。
次のページでは、火災発生時以外の活動などを紹介します。

消防署から遠い場所で火災が発生した場合、消防車到着までの被害を、最小限に食い止めるための初期消火を行っています。また、延焼を防ぐための火災現場付近の監視、危険物の移動、付近住民の安全確保なども行っています。
さらに、消防職員が消火活動を円

どんな活動をしているか

消防団は、消防署と共に火災や災害への対応、予防啓発活動などを行う、消防組織法に基づいた消防組織です。消防職員と消防団員の一番の違いは、消防職員は常勤の地方公務員として消防本部に勤務、または消防署で交代勤務をしているのに対し、消防団員は非常勤の特別地方公務員であるということです。従って、消防団員の多くは他に本業を持ちながらも、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき活動をしており、ボランティアとしての性格も併せ持っています。
全国には84万3661人の消防団員(平成30年4月1日時点)がおり、本市では、712人(平成30年10月1日時点)の消防団員がいますが、団員の数は平成17年1月の844人から減少の一途をたどっています。本特集では、地域を守る消防団の活動を紹介します。